TEAC

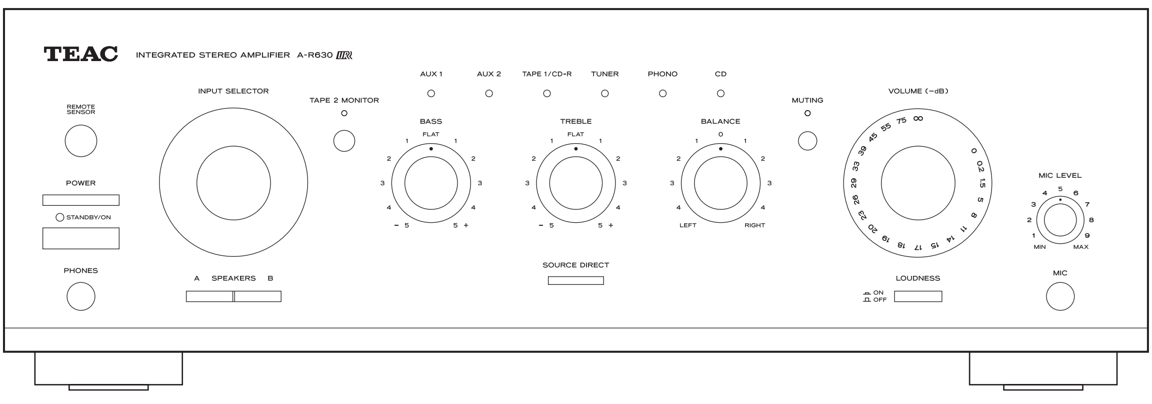
CQX1A1570Y

取扱説明書

A-R630

プリメインアンプ

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはAVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(UR-431)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

使用上の注意

- 本機がスタンバイ(オフ)状態のときでも、待機電力が消費されます。待機電力をカットするためには電源ボタン[POWER]をオフにしてください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります**
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは** すぐに機器本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために(続き)

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をスタンバイ状態にし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

注意	乾電池に関する注意
禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意	乾電池に関する注意
強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

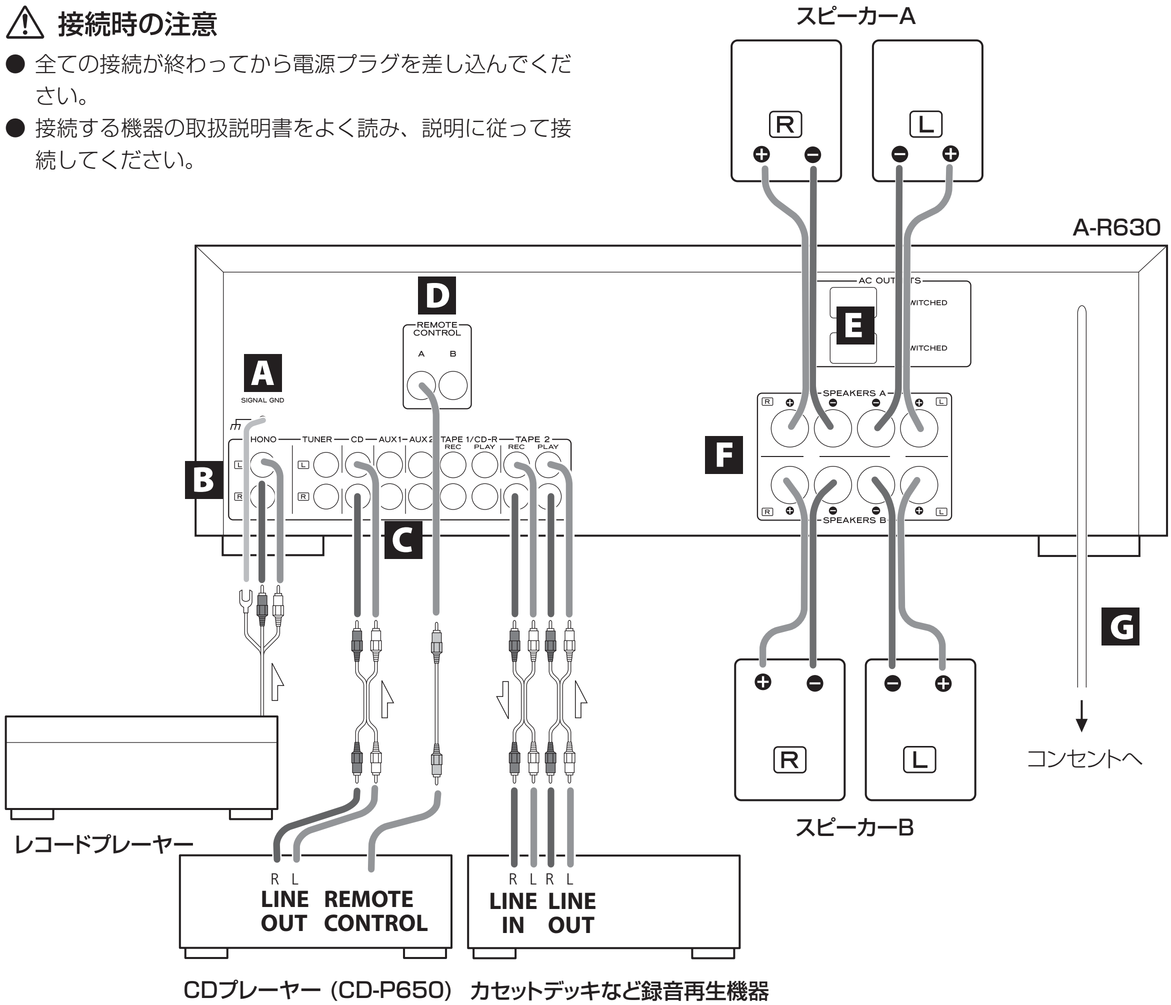
愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

接　続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アース端子 [SIGNAL GND]

レコードプレーヤーなどのアース線を接続します。

- 安全アースではありません。

B フォノ入力端子[PHONO]

レコードプレーヤーの音声を入力します。
レコードプレーヤーのカートリッジは、MM型またはMM型相当の出力レベルのカートリッジをお使いください。

- レコードプレーヤーのアースは、必ず本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。
- 白のピンプラグは白(L)端子に、赤のピンプラグは赤(R)端子に接続してください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

■ アナログ音声入出力端子

入力端子「TUNER」「CD」「AUX1」「AUX2」は、再生機器の出力端子と接続してください。
入出力端子「TAPE1/CD-R」「TAPE2」のREC端子は録音再生機器の入力端子と接続してください。
PLAY端子は録音再生機器の出力端子と接続してください。

- オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

D リモートコントロール端子 [REMOTE CONTROL]

CDプレーヤー「CD-P650」と連動させるための端子です。
本機とCD-P650のリモートコントロール端子同士をリモートコントロールケーブルで接続してください。(以下システム接続と表記します。)

- リモートコントロールケーブルはCD-P650に付属しています。(本機には付属していません。)
- 本機のA、Bどちらか一方の端子に接続してください。

システム接続すると以下のシステム機能が使えるようになります。

- 本機に付属のリモコンでCD-P650を操作できます。(CD-P650背面のリモートコントロールセレクターを「SYSTEM」に切り換えてください。)
- CD-P650の再生ボタン(►)を押すと、本機の入力は自動的にCDに切り換わります。
- 本機の入力でCDを選択すると(本機をオンにした時にCDが選択されていた場合も)、自動的に再生が始まります。

E 電源アウトレット(連動) [AC OUTLETS]

本機に接続する機器(CDプレーヤー、チューナー等)の電源をここからとることができます。本機の電源ボタン[POWER]を押し、電源をスタンバイにすると、接続した機器に電源が供給されます。

⚠ **接続する機器の消費電力の合計は100W以内にしてください。火災・感電の原因になります。**

F スピーカー出力端子

２系統のスピーカーシステムを接続することができます。
フロントパネルのスピーカーボタン[SPEAKERS]でスピーカー出力をオン/オフすることができます。(９ページ)

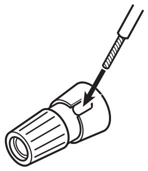
ご注意

以下の条件以外のスピーカーシステムを使用すると、保護回路が働いて正しく音が出ません。場合によってはアンプやスピーカーが故障する恐れがあります。(保護回路が働いていると電源インジケーターが点滅します。)

- １系統(AもしくはB)のスピーカーシステムを接続する場合は、公称インピーダンスが4Ω以上のものをお使いください。
- 2系統(AとＢ同時接続)のスピーカーシステムを接続する場合は、公称インピーダンスが8Ω以上のものをお使いください。
- 本機の赤い端子が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。
- 本機のスピーカー端子とスピーカーシステムは必ず同じ極性(⊕と⊕、⊖と⊖)を接続してください。極性を間違うと、音が前方に定位せず違和感のある音になります。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

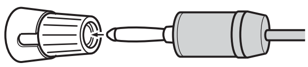
1. スピーカーケーブルの被覆を約1cmむき、芯線をよくねじる。
2. 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。
3. 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。



4. スピーカーケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。



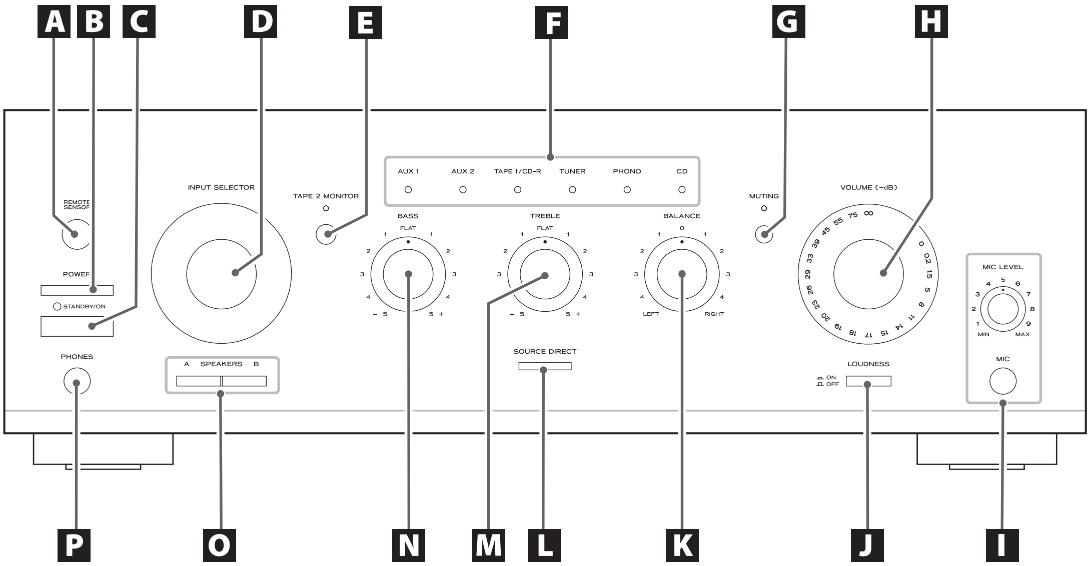
- 接続端子のつまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

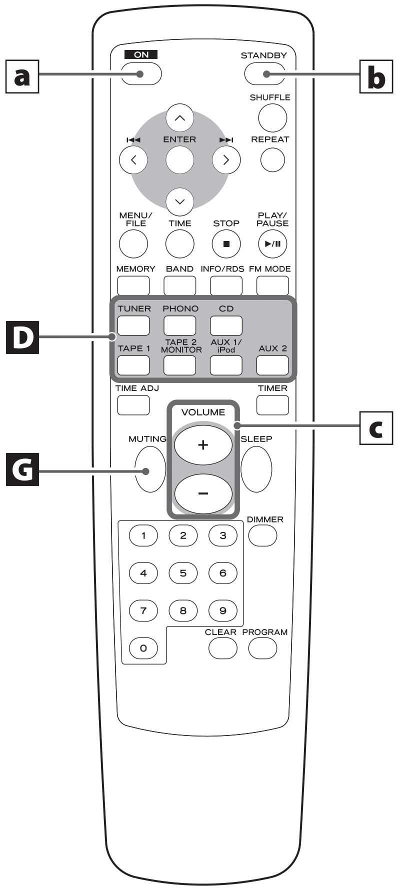
G 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
電源コンセントからの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

各部の名前とはたらき





A リモコン受光部 [REMOTE SENSOR]

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

B 電源ボタン [POWER]

電源のスタンバイとオフを切換えます。

C スタンバイ/オンボタン[STANDBY/ON]

電源ボタン[POWER]がスタンバイの時、電源のオンとスタンバイを切換えます。スタンバイのとき、インジケーターが点灯します。オンのとき、インジケーターが消灯します。

D 入力切換つまみ [INPUT SELECTOR]

このつまみを回して再生するソースを選択してください。

E テープ2モニターボタン [TAPE 2 MONITOR]

「TAPE2」の端子に接続した機器を再生するときに、このボタンを押します。選択すると「TAPE2 MONITOR」のインジケーターが点灯し、入力切換えつまみ[INPUT SELECTOR]で選択されているソース（入力インジケーターが点灯中）の再生は無効となり、「TAPE2」の再生音が優先されます。また、「TAPE2」に接続した機器で録音しているときは、録音中のソースの音を聴くことができます。

F 入力インジケーター
選択されているソースのインジケーターが点灯します。

G ミューティングボタン[MUTING]
一時的に音量を下げたいときに押してください。(12ページ)

- ミューティング中は、インジケーターが点滅します。

H 音量つまみ [VOLUME]
音量を調節します。右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

> 音量は、0が最大、−∞（マイナス無限大）が最小です。電源を入れる前に音量つまみ[VOLUME]を最小(−∞)にしてください。
> 突然大きな音がでて、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

I マイク端子[MIC]
マイク音量つまみ[MIC LEVEL]
マイクをマイク端子(MIC)に接続します。選択したソースとマイクの音がミックスされます。
マイク音量つまみ[MIC LEVEL]でマイクの音量を調節します。

J ラウドネスボタン[LOUDNESS]
小さな音量のときに、聴こえにくい低音と高音を増強して補正するのに使います。

K バランスつまみ [BALANCE]
左右の音量バランスを調整します。(13ページ)

L ソースダイレクトボタン [SOURCE DIRECT]
このボタンを押すと、トーン回路(TREBLE、BASS)をバイパスします。(12ページ)
再びこのボタンを押すと元の状態に戻ります。ソースダイレクトをオンにするとソースダイレクトボタン[SOURCE DIRECT]が点灯します。

M 高音調節つまみ [TREBLE]
高音域を調節します。(13ページ)
ソースダイレクトがオンの場合は機能しません。

N 低音調節つまみ [BASS]
低音域を調節します。(13ページ)
ソースダイレクトがオンの場合は機能しません。

O スピーカーボタン[SPEAKERS]
このボタンでスピーカーのオン/オフを行います。

Aボタンのみ押す：
Aに接続したスピーカーから音が出ます。

Bボタンのみ押す：
Bに接続したスピーカーから音が出ます。

AとB両方のボタンを押す：
AとBの両方のスピーカーから音が出ます。

A、Bどちらも押さない：
スピーカーから音は出ません。ヘッドホンを使うときにはこの設定が必要になります。

P ヘッドホン端子 [PHONES]
6.3mmステレオ標準プラグのヘッドホンが接続できます。

- ヘッドホンプラグを挿入してもスピーカーの音は止まりません。スピーカーボタンを「A、Bどちらも押さない」設定にしてください。

リモコン
このリモコンでCD-P650を操作するときは、操作する前にリモコン入力選択ボタン(D)で「CD」を選んでください。

a オンボタン[ON]
本体の電源ボタン[POWER]がスタンバイのとき、このボタンを押すと電源がオンになります。

b スタンバイボタン[STANDBY]
電源がオンのとき、このボタンを押すとスタンバイに切り替ります。

その他のボタンは、CD-P650の操作に使用します。ただし、チューナーやタイマー関連のボタンは、本機では使用できません。

c 音量ボタン[VOLUME]
音量を調節します。+ボタンを押すと音量が大きくなり、−ボタンを押すと音量が小さくなります。

リモコンの使い方

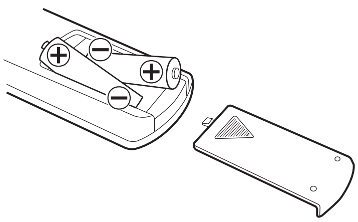
使用上の注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。

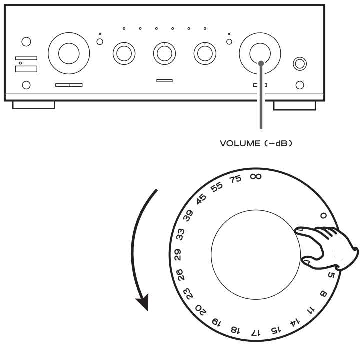


電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

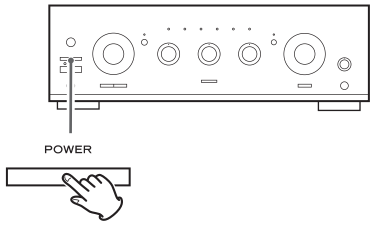
基本操作

1 音量つまみ[VOLUME]を反時計回りに回して、音量を最小にする。



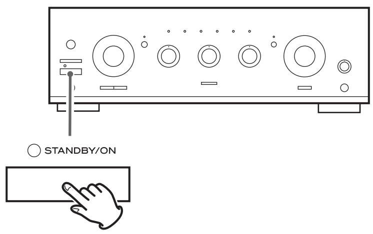
−∞dB: 最小音量
0dB: 最大音量

2 電源ボタン[POWER]を押す。



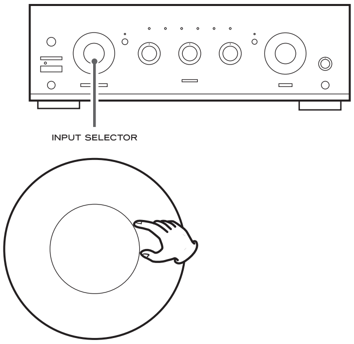
本体はスタンバイモードになり、インジケーターが点灯します。

3 スタンバイ/オンボタン[STANDBY/ON]を押して電源をオンにする。

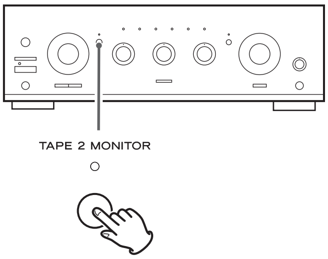


インジケーターが消灯します。

4 入力切換つまみ[INPUT SELECTOR]を操作して、聴きたいソースを選択する。



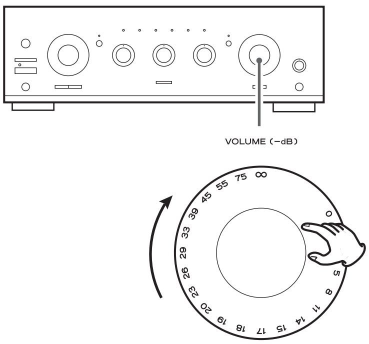
またはテープ2モニターボタン[TAPE 2 MONITOR]を押す。



「TAPE 2」の端子に接続した機器をソースとして選択するときに、このボタンを押します。選択すると「TAPE 2 MONITOR」のインジケーターが点灯します。

- テープ2モニターがオンになっていると他のソースを聴くことができません。他のソースを聴くときは、テープ2モニターをオフにしてください。

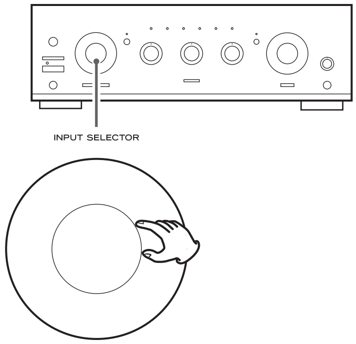
5 ソースを再生し、音量つまみ[VOLUME]を回して、音量を調節する。



録　音

入力インジケーターが点灯しているソースの音を「TAPE1/CD」または「TAPE2」に接続した録音機器で録音することができます。

1 入力切換つまみ[INPUT SELECTOR]を回して、録音するソースに切換える。



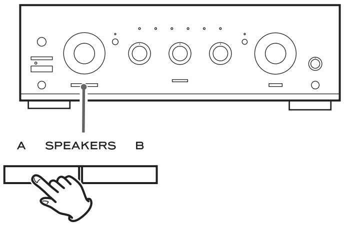
- 「TAPE1/CD-R」で録音できるソースは、AUX1、AUX2、TUNER、PHONO、CD端子に接続された再生機器になります。
- 「TAPE2」で録音できるソースは、AUX1、AUX2、TAPE1/CD-R、TUNER、PHONO、CD端子に接続された再生機器になります。
- 「TAPE1/CD」から「TAPE2」へのダビングが可能です。
- 「TAPE2」から「TAPE1/CD」へのダビングはできません。

2 録音するソースを再生する。

3 録音を開始する。

- 音量つまみ[VOLUME]、低音調節つまみ[BASS]、高音調節つまみ[TREBLE]は録音時に反映されません。
- 「TAPE2」のモニターボタン[TAPE2 MONITOR]をオンにすると「TAPE2」に接続した機器で録音しているときは、録音中の音を聴くことができます。

スピーカーのオン/オフ



スピーカーボタン[SPEAKERS]A、Bを押してスピーカーのオン/オフを切換えます。

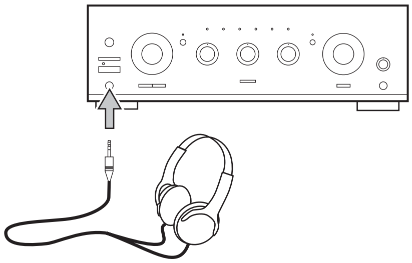
Aボタンのみ押す:
Aに接続したスピーカーから音が出ます。

Bボタンのみ押す:
Bに接続したスピーカーから音が出ます。

AとB両方のボタンを押す:
AとBの両方のスピーカーから音が出ます。

A、Bどちらも押さない:
スピーカーから音は出ません。ヘッドホンを使うときにはこの設定が必要になります。

ヘッドホンで音楽を聴く

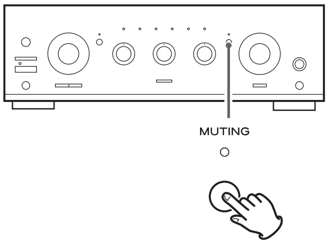


ヘッドホンプラグ（6.3mmステレオ標準タイプ）をヘッドホン端子[PHONES]に差し込み、適切な音量に調節してください。

- スピーカーからの音を消したい場合は、スピーカーボタン[SPEAKERS]をA、Bともオフにしてください。

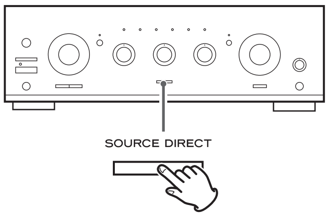
⚠**ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。**

一時的に音量を下げる



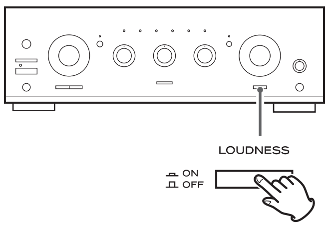
ミューティングボタン[MUTING]を押すと一時的に音量を下げる(−20dB)ことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
ミューティング中はインジケーターが点滅します。

ソースダイレクト機能



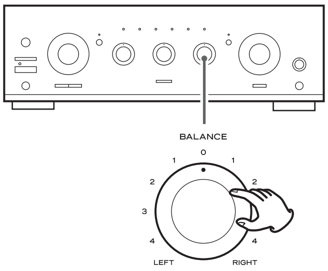
ソースダイレクトボタン[SOURCE DIRECT]を押してこの機能のオン/オフを切換えます。ソースダイレクトをオンにするとソースダイレクトボタン[SOURCE DIRECT]が点灯し、トーン回路(TREBLE、BASS)をバイパスします。

ラウドネス機能



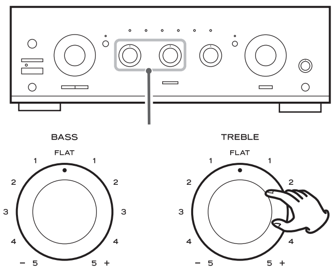
ラウドネスボタン[LOUDNESS]を押してこの機能のオン/オフを切換えます。
小さな音量のときに聴こえにくい低音と高音を強調して聴くことができます。

スピーカーの左右バランスを調節する



バランスつまみ[BALANCE]を回して調節します。通常は中央の位置にしてください。

低音・高音を調節する



低音域調節つまみ[BASS]を左右に回して、低音域を調節します。
高音域調節つまみ[TREBLE]を左右に回して、高音域を調節します。
ソースダイレクトがオンの場合は機能しません。

仕　様

パワーアンプ部

定格出力. . . . . 90W+90W(1kHz、4Ω、T.H.D 0.5%)
60W+60W(1kHz、8Ω、T.H.D 0.5%)
全高調波歪率 . . . . 0.02%(1kHz、8Ω、45W)
出力端子. . . . . .スピーカー A or B：負荷4 ～ 16Ω
スピーカー A ＋ B：負荷8 ～ 16Ω

プリアンプ部

入力感度/インピーダンス
PHONO 2.8mV/47kΩ
ライン* 180mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス
CD-R/TAPE. 150mV/3.3kΩ

総合特性

周波数特性 . . . . 10Hz ～ 65kHz
PHONO . . . . .20 ～ 20,000Hz ±1dB(RIAA)
ライン* . . 5 ～ 80,000Hz(ソースダイレクト、1W)
S/N比(入力ショート)
PHONO 65dB
ライン* 90dB
トーンコントロール
BASS. ±10dB(100Hz)
TREBLE. . . . .±10dB(10kHz)
ミューティング . . . . −20dB

一般

電源 . . . . AC100V、50-60Hz
消費電力. 200W
待機電力. 0.5W
外形寸法(幅、高さ、奥行). . . . . . 435×142×355mm
質量 8.1kg
動作保証温度 . . . . 5℃～ 35℃

付属品
リモコン(UR-431)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

*ライン：AUX1、AUX2、TAPE1/CD-R、TUNER、TAPE2、CD

仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

本体

電源が入らない

➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない

➡ 音量つまみ[VOLUME]で音量を調節してください。
➡ 入力切換つまみ[INPUT SELECTOR]で聴きたいソースを選んでください。
➡ 各機器との接続をもう一度確認してください。
➡ テープ2モニターがオンになっていると他のソースを聴くことができません。他のソースを聴くときは､テープ2モニターボタン[TAPE 2 MONITOR]を押してオフにしてください。

再生中、音がとまる。電源をオンにした後も音が出ないでスタンバイインジケーターが点滅する

➡ スピーカー接続ワイヤの⊕と⊖がショートしているか、出力が過負荷のため保護回路が働いている可能性があります。すぐに電源をオフにしてスピーカーケーブルを確認し、原因を取り除いてください。
➡ 正しい公称インピーダンスのスピーカーシステムを使用してください。（7ページ）

低音が完全に再生されない。ステレオの定位が不安定

➡ スピーカーシステムとの接続の極性(⊕、⊖)を確認してください。

BASS、TREBLEつまみが効かない

➡ ソースダイレクトボタン[SOURCE DIRECT]を押してソースダイレクト機能を解除してください。
(12ページ)

左右の音が逆になる

➡ スピーカーおよび入出力端子の接続が左右逆になっていないか確認してください。

ブーンというノイズが聞こえる

➡ 接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、できるだけ遠ざけてください。

スピーカーシステムの片側からしか音がでない

➡ スピーカーケーブルが外れていないかチェックしてください。
➡ バランスつまみ[BALANCE]が片側に寄りすぎている場合は、中央に合わせてください。

本体からブーンという音が聞こえる

➡ 本機は回路保護に必要な冷却用のファンを内蔵しています。設置環境や使用状況によりファンの音が聞こえる場合がありますが故障ではありません。気になる場合は一時使用を中止し、本体の温度を下げてからお使い下さい。

リモコン

リモコンで操作できない

➡ 本体の電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(10ページ)
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体に向けて操作してください。(10ページ)
➡ 本機のリモコンでCD-P650を操作する場合は、本機とCD-P650のリモートコントロール端子同士を接続し、CD-P650のリモートコントロールセレクタースイッチを「SYSTEM」にしてください。
➡ 本機のリモコンでCD-P650を操作する場合は、操作する前にリモコンの入力切換ボタンで「CD」を選んでください。

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

リモコンでチューナー、CDプレーヤーが操作できない。

➡ 本機のリモコンで操作できるのは、本機とCD-P650です。その他の機器は、操作できません。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日、販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

14ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：プリメインアンプ　A-R630

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解･改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1110･MA-1628B